

議会だより

下郷

令和7年度3月会議

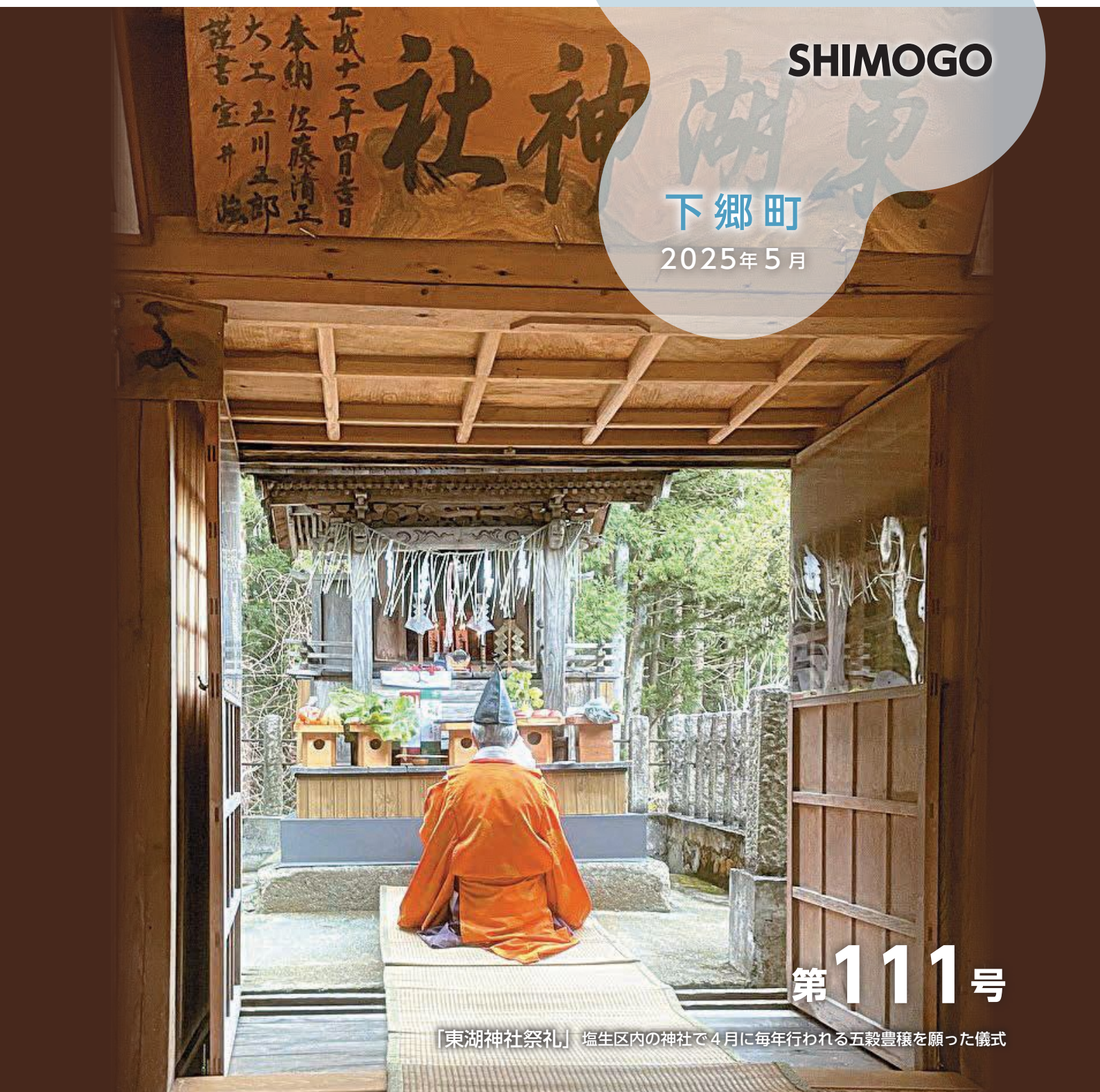
- 一般会計・特別会計重点事業…… 2～3
- 予算特別委員会…………… 4～7
- 議案審議…………… 7～9
- 一般質問
- 「3人の議員が町政への質問」… 10～13
- 議会だよりギャラリー…………… 14

目次

SHIMOGO

下郷町

2025年5月



第111号

「東湖神社祭礼」 塩生区内の神社で4月に毎年行われる五穀豊穡を願った儀式

令和7年度当初予算を可決

- ・ 一般会計予算は1億3,200万円増の49億9,500万円
- ・ 特別会計予算は1,201万円減の17億2,299万円
- ・ 公営企業会計予算は3,124万円増の3億7,881万円

豊かな心を育む

(教育文化)

2億722万円

- ・ 子供・子育て支援策充実
- ・ 学力向上の推進
- ・ 生涯学習・スポーツの推進
- ・ 文化財の保存と活用

活力のある町

(活力創造)

4億1,207万円

- ・ 満足度の高い魅力ある観光地づくり
- ・ 農林業の振興
- ・ 商工業の活性化
- ・ 移住の推進と関係人口の拡大

令和7年度 重点事業内訳

健やかに 暮らせるまち

(健康福祉)

2億4,368万円

- ・ 健康の保持増進
- ・ 高齢者福祉の充実
- ・ 商工業の活性化
- ・ 障がい者福祉の充実と地域福祉の推進

住み続け たいまち

(教育文化)

4億6,676万円

- ・ 道路・公共交通の整備
- ・ 安全・安心な地域づくり推進
- ・ 住みよい生活環境づくり推進

みんな つくるまち

(協同推進)

1,214万円

- ・ 新しいまちづくり

令和7年度特別会計内訳

特別会計	予算額	増減額(対6年度)	増減率
国民健康保険	6億6,074万9千円	△5,430万8千円	▲7.6%
後期高齢者医療	1億381万8千円	798万7千円	8.3%
介護保険	9億5,842万5千円	4,512万円	4.9%

令和7年度公営企業会計内訳

公営企業会計	予算額	増減額(対6年度)	増減率
簡易水道事業	3億2,839万4千円	1,973万1千円	6.4%
農業集落排水事業	5,042万5千円	1,151万1千円	29.6%

※簡易水道事業と農業集落排水事業は公営企業会計のため、予算額は収益的支出及び資本的支出の合計額とした。

3月会議

3月会議は7日から17日までの11日間の会期で開催されました。今定例会では、除雪費の増額を伴う専決処分2件、農業委員会委員など人事案件12件のほか、条例の改正8件、条例設定1件、第7次町総合計画（基本計画策定）1件、町道の路線終点変更1件指定管理者の指定期間の変更1件で36議案全て可決となり、議員提出議案2件についても可決された。

専決処分の承認（7ページ）

- 令和6年度下郷町一般会計補正予算
- 損害賠償の額の決定及び和解

総合計画（7ページ）

- 第7次下郷町総合計画基本構想及び基本計画の策定

人事案件

- 固定資産評価審査委員会委員の選任
- 農業委員会委員の任命（11件）

指定期間の変更（9ページ）

- 下郷町三彩館（下郷町農村交流体験施設）等の指定管理における指定期間の変更

予算（4ページ）

- 令和6年度一般会計補正予算
- 令和6年度国民健康保険特別会計補正予算
- 令和6年度下郷町後期高齢者医療特別会計補正予算
- 令和7年度一般会計予算
- 令和7年度国民健康保険特別会計予算
- 令和7年度下郷町後期高齢者医療特別会計予算
- 令和7年度下郷町介護保険特別会計予算
- 令和7年度下郷町簡易水道事業会計予算
- 令和7年度下郷町農業集落排水事業会計予算

議員提出議案

- 下郷町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正
- 福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出

条例の制定（8ページ）

- 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の設定
- 下郷町地方活力向上地域における固定資産税課税免除及び不均一課税に関する条例の設定
- 下郷町野外活動施設条例の一部を改正する条例の設定
- 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の設定
- 下郷町ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の設定
- 下郷町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の設定
- 下郷町給水条例の一部を改正する条例の設定
- 下郷中学校校庭夜間照明施設使用料条例の一部を改正する条例の設定

一般会計予算

■ふるさと納税

企業訪問を実施し、ふるさと納税の返礼品拡充に向けた取り組みを強化することを表明。

問

ふるさと応援寄附金が前年から300万円減額となった理由は何か？

答

予算編成時点での今年度の収入額が昨年していたため、現状に合わせて600万円と計上した。

■地域おこし協力隊

地域おこし協力隊の新規隊員募集を実施中で、7月以降の採用を目指すことを報告。

問

地域おこし協力隊2名分の予算が昨年より減額している理由は？

答

現在の隊員が6月までの任期で、新規隊員は7月以降の採用予定のため、実質的に年間1名分の予算となっている。

問

法人税の減少傾向は今後も続くのか？

答

縦貫道関連の需要が一段落したことにより、土木建設業の減収が主な要因。令和7年度以降も同様の傾向が続くと見込んでいる。

■指定管理料

令和7年度に公共施設個別施設計画検討委員会を開催し、空き施設の活用方法を検討することを表明。

問

指定管理料の算出根拠はどのようなになっているのか？

答

運営母体からの要望額を基に町内で協議して設定している。町が一方的に金額を積み上げるものではない。



■プロモーション事業

問

日光会津観光地区活性化推進検討委員会負担金というのが20万円ある

ったが今年度は予算に入っていないがこれはどのような検討がされてもう必要ないとなったのか？

答

日光会津観光地区活性化推進協議会について、事業構成が難しいというところで、今後検討を積み重ねている状況である。

■受信料

問

公用車のワンセグのNHK受信料は支払わなくてよいのか？

答

公用車のワンセグ搭載状況を確認し、必要に応じてNHK受信料の補正予算対応を検討することを報告。

■法人税

問

個人町民税の1000万円の増額要因は何か？

答

コロナ禍により厳しめに見込んでいた町

民税が、その後営業農業それぞれ所得が増加したところを見込んで算出したもの。

■指定管理

指定管理施設の予算編成において、過去の実績や見込みを考慮した査定を行うことを表明。

問

指定管理料の予算査定はどのように行われているのか？

答

公の施設を外部委託している性格上、各施設からの経費要求を担当課で精査し、財政担当課に予算要求案として上げ、予算編成指針に基づいて査定を行っている。

■带状疱疹ワクチン

带状疱疹ワクチンの定期接種化に向けた体制整備を進めることを確認。

問 带状疱疹ワクチンの定期接種化について、詳細を教えてください。

答 令和7年4月から定期接種に位置づけられ、65歳の方を対象とし、5年間の経過措置として5歳刻みの年齢の方も対象となる。令和7年度の対象者は約600人を見込んでおり、公費負担は5割となる。

問 中山間地域直接支払制度から多面的機能支払交付金への移行支援を実施することについて。

答 中山間地域直接支払制度が不利な中山間地域において、農業の継続と農村の多面的機能の維持を支援するため、農業者に交付金を支給する制度である。※「多目的機能支払交付金」は、農業や農村が本来持っている「多面的機能」を維持・発揮するために、地域住民が行う共同活動に対して国が交付金を支給する制度である。

問 中山間地域直接支払制度の協定数が減少した理由は何か？

答 高齢化による活動困難や、担い手・地区リーダーの不足により継続を断念する協定が出てきたため。



※「中山間地域等直接支払制度」は、農業条件が不利な中山間地域において、農業の継続と農村の多面的機能の維持を支援するため、農業者に交付金を支給する制度である。※「多目的機能支払交付金」は、農業や農村が本来持っている「多面的機能」を維持・発揮するために、地域住民が行う共同活動に対して国が交付金を支給する制度である。

問 行政効率化職員提案制度の周知はしているのか？

答 行政効率化職員提案制度の周知徹底を図っていく。

※「行政効率化職員提案制度」は、地方自治体や国の行政機関など職員が日々の業務の中で気づいた改善点や新しいアイデアを提案し、業務の効率化やサービス向上につなげる制度。

問 道路メンテナンス事業は国の補助事業申請を行い、必要な予算確保に努める。

答 道路メンテナンス事業で合川橋と薬水橋の事業内容と金額について教えてください。

問 合川橋については令和6年度からの継続事業で、橋脚の補修工事を実施する。薬水橋については令和7年度単年度事業として、断面修復、ひび割れ注入などの補修工事を予定している。

答 合川橋の補修工事は令和7年度で完了する。令和7年度の単年度で完了する見込みである。ただし、国の補助事業を使用するため、要望額通りの満額交付が条件となる。

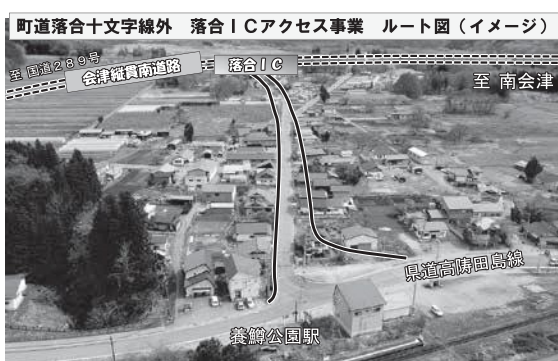
問 薬水橋の補修工事は令和7年度で完了するということでしょうか？

答 薬水橋の補修工事は令和7年度で完了する見込みである。ただし、国の補助事業を使用するため、要望額通りの満額交付が条件となる。

問 用地測量 落合十文字線の道路拡幅工事を実施予定

答 落合十文字線の用地測量は会津縦貫南道路との関連があるのか？

答 県道高崎田島線と会津縦貫南道路の落合インターを結ぶ路線の道路拡幅を予定している事業である。



問 橋梁定期点検の周期はどのくらいか？

答 国の法律により5年に1回の点検が義務付けられています。

問 スクールソーシャルワーカー（SSW）

までの成果と課題は？

答 支援した児童生徒数は延べ160人余りで、不登校や発達障害に関する問題が多く、教育環境の複雑化により1人のSSWではキャパを超えつつある状況である。

問 大内宿保存整備事業の令和7年度の内容は？

答 3件の屋根の葺き替え工事を予定している。



■町営住宅使用料

高額滞納者に対する法的措置を検討

問 住宅使用料についてどのくらい見込んで

答 過去3年間の収納率の平均（85・8%）を基に算出し、現年度分約1978万円、過年度分約72万円を見込んでいます。

問 協議を進めていくと

の際に話があったが学校統

廃合の予算がついてないが検討会を行うのか？

答 小学校統廃合に関する新たな検討会を令和7年度早々に立ち上げる予定。

■江川小・下郷中のプール利用停止

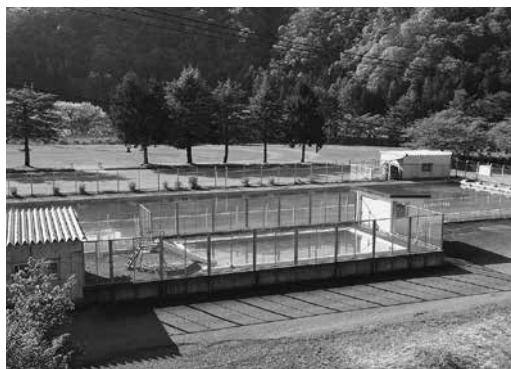
（水不足）

問 水不足のため旭田小学校を使用するとし

答 たが、まだ水不足だと分かっていないのではないかとどのように決めたのか。

問 予算編成時期に建設課と協議の上、今年

答 も水不足ということで、町民プールの開放はやめると打ち合わせをし決めた。江川小学校は檜原小学校へ、下郷中学校は旭田小学校へプール授業を移動して実施。



■湯野上居平物件

移転補償費

温泉会社との物件移転に関する正式協議を予算決定後に実施予定

問 物件移転補償費1件で1850万か。駐

答 車場は契約して無いようだが所有者との関係はどうなっているのか

問 物件移転補償1850万円だが建物1棟

答 の予算額である。令和6年度で土地を購入したのは道路拡幅道路になる部分の



み。令和7年度道路事業で物件補償するのはこの会社の部分の一棟のみ。賃貸借契約だが、土地所有者はこの建物と土地所有者と建物の土地の賃貸借契約と、土地所有者等を駐車場の駐車場との賃貸借契約、二つを結んでいる。契約後に町と契約した後に買い会社と土地所有者の建物の土地の賃貸借契約は解除している。町では道路の土地を買収している。駐車場になっている部分は、まだ土地所有者と会社の方で駐車場の土地賃貸借契約をまだ結んでいる状況。

■町発信LINE利用料
LINEアプリケーショ
ンの情報管理について二重
チェック体制を強化。

問 LINEアプリケー
ションの利用料はい
くらなのか？

答 LINE情報発信ア
プリケーション利用
料として92万4000円を
計上している。

問 現在のLINE登録
者数は何人か？

答 本日現在で657人
の登録者数となつて
いる。



問 LINEアプリケー
ションのセキュリティ
対策はどのようになって
いるのか？

答 郡山のFIC社を経
由して運用してお
り、二重のチェック体制を
取っている。情報管理につ
いては町とFIC社の両方
で管理を行っている。

※LINE（ライン）
は、主にスマートフォン
向けの無料メッセー
ジ・通話アプリである。
下郷町においては町の
最新情報や観光・イベ
ント情報、災害・防災
情報などを配信してい
る。

議案審議

■車両事故（町道）に
関する責任と対策

議員 町道グレーチングの
事故について、町が
賠償責任を負うこと、そし
て一般住民が事故に遭った
際に、どこに連絡すればい
いのか、賠償に関する手続
きがわかりにくい。

課長 事故発生時は若松ガ
スから町へ連絡があ
り、その後町職員が現場を
確認したと説明。町道であ
れば町、県道・国道であれ
ば県が対応するが、まずは
町へ連絡すれば状況確認の
上、適切な機関に連絡する。

議員 町道グレーチングの
老朽化が懸念される
ことから、定期的なパトロ
ールを実施しているか。

課長 日常業務の中で道路
状況を確認し、必要

にに応じて対応していること
を説明。今回の事故は、表
面上ではわかりにくい劣化
が原因である可能性を指摘
し、今後もより注意深く確
認作業を進めていく。

■第6次総合計画の検
証と第7次総合計画
への反映

議員 第6次総合計画の検
証が十分に行われて
いないこと、第7次総合計
画に新規の取り組みや重要
な課題が盛り込まれていな
いことを懸念。予算編成時
に検証を行っているが、具
体的な内容が明らかになっ
ていないため、検証結果を
予算と同時に公表するこ
と、計画への記載漏れがあ
れば修正すること。

課長 総合計画は全体の方
向性を示すものであ
り、具体的な数値目標は個
別計画に記載されていると
説明。計画書に記載されて
いる4つの主要指標が全体
の目標を示しているとし、
細かい数値目標を総合計画
に盛り込むことは考えてい
ない。

議員 ワークショップの回
数や内容、水不足対
策、人口減少対策などが不
十分であること、総合計画
が最上位計画であるにもか
かわらず、変更が可能な点
は不安だ。

課長 プール問題や人口減
少対策は他の計画に
含まれている。ワークショ
ップはアンケートも実施し
ており、町民の声を反映し
ている。検証結果について
は、ホームページや配布資
料で公表するが、具体的な
事業の検証結果については
公表は難しいと説明。計画

の見直しについては、必要があれば行う。

■下郷町犯罪被害者等支援条例とは

議員 下郷町が犯罪被害者等支援条例を制定したことについて、条例の内容が家族関係にまで踏み込むことができるのか、実際に被害者を支援できるのか疑問を呈した。多くの市町村では同様の条例が制定されていないことを挙げ、条例制定の意図と具体的な支援内容は？

課長 福島県が犯罪被害者等支援条例を施行しており、下郷町も同条例に基づき、町としての支援姿勢を明確にするために条例を制定したと説明。国や県、警察との連携を強化し、被害者の方に対して真摯に対応していくことを表明した。また、被害状況を把握した上で、可能な限り

支援を講じていくと述べた。

■計画給水人口と1日最大の給水量の計算について

議員 計画給水人口が半分になっていくにもかかわらず、1日最大の給水量が半分になっていないことに疑問を呈し、漏水との関連性は？

課長 計画給水人口は、地域区域内の人口と給水区域の人口、加入率などを考慮して計算されているため、以前の条例と比較して半分になっているケースがあると説明。1日最大の給水量は、有収率（漏水率）、平均給水量、施設の負荷率などを考慮して算出されるため、計画給水人口と単純に比例関係にはならないと説明した。

■簡易水道事業の名称変更と給水人口算出方法について

議員 簡易水道事業の名称変更と給水人口算出方法について質問。統合簡水という名称を簡易水道に戻した理由と、交流人口を含めた人口算出方法を採用しない理由は？

課長 名称変更は、下郷町簡易水道事業の中に5つの簡易水道事業と1つの統合簡水事業があったのを一本化するために行われたと説明。従来は各事業ごとに名称が付けられていたが、今後は「下郷町簡易水道事業」という名称に統一すると述べた。給水人口は、定住人口に基づいて算出されており、交流人口は考慮されていない。

議員 統合簡水という名称が水道法との関係で問題視されたことがあるのかを質問し、給水人口が季節変動する地区があることを指摘。水不足への対応策は？

課長 名称変更の背景には、給水人口が5000人を下回ることで、一つの簡易水道事業として統合することが可能になること、国庫補助金の申請も容易になることがあると説明。給水人口は定住人口に基づいて算出しており、交流人口は考慮されていない。

課長 給水人口が約半分に減ることで、経費削減を検討しているのか。

議員 給水人口減少による経費削減は考えていないと回答。むしろ、補助金申請などにより、大きな金額がかかる可能性もある。さらに、1人当たりの

単価が高くなる可能性も。



■公共施設使用料の改定と赤字試算について

議員 公共施設使用料の改定により、電気代などを考慮した赤字額や収支見直しについて。

課長 赤字・黒字の試算は行っていないと回答。改定された使用料は最低限の金額であり、コミュニティセンターや中学校のナイター施設は、新たに整備された施設であり、多目的利用を想定しているため、大幅な赤字にはならないと考えていると説明した。

課長 給水人口減少による経費削減は考えていないと回答。むしろ、補助金申請などにより、大きな金額がかかる可能性もある。さらに、1人当たりの

課長 給水人口が約半分に減ることで、経費削減を検討しているのか。

■下郷町三彩館の指定管理契約解消における指定期間の変更について

議員 下郷町三彩館（中山）の指定管理契約

の破棄の理由や違約金、過去の仮払い状況、施設の返却問題などを質問。契約の軽薄さ、契約破棄に至った責任の所在、改善策は。

課長 契約破棄の理由は物価高騰、労働力不足

による経営不安定とコロナ禍からの回復遅延であると説明。違約金は発生していないと述べ、中山花の里公園の草刈りについては、令和5年度は町直営、令和6年度は観光公社、令和7年度は町が予算化している。

下郷町三彩館の仮払いは、昨年度は総務課が対応していた。

町長 下郷町三彩館、食の館、大内駐車場などの施設は、かつてリゾート

法に基づき、県からの支援を受けて設置された経緯を説明。しかし、バブル崩壊や主要株主撤退により、第3セクター運営が困難になったことから、県からの支援を受け、下郷町が運営を引き継いだ。

中山花の郷公園は、管理費用が高く、高齢化による人手不足で、町直営や中山行政区への委託を経て、観光公社が草刈り業務を受託するようになった。

下郷町三彩館は、開業以来赤字が続いており、今後も赤字が続く見込みであるため、より具体的な改善策を検討するために、指定管理契約を1年短縮し、早期に契約を破棄した。

■下郷町三彩館の有効活用と今後の運営方針

議員 下郷町三彩館の建物が老朽化する前に有

効活用すべき。第三者の指定管理者を選定し、魅力的な事業を行うことで、町の発展に繋げる。

課長 令和7年度中に町公

共施設個別施設計画の検討委員会を立ち上げ、3施設（下郷町三彩館など）の今後の運用方針について検討していく。予算も計上済みである。



議員 建物の老朽化が懸念されるため、早期に

指定管理者を導入するよう求める。

町長 早期に予算措置を行い、運営方法を検討し、結論を得たい。

■下郷町三彩館の累積赤字と損失補填の方法

議員 下郷町三彩館の累積赤字の解消方法は。

赤字補填の財源が曖昧であることを指摘し、具体的な処理方法は？

町長 これまでの赤字は指定管理料で処理されており、会計上は赤字ではなく、下郷町観光公社全体の予算で賄われている。

議員 赤字を放置せずに解消していく方法は？

課長 町長が説明した赤字は、大内宿食の館と

下郷町三彩館の累積赤字の合計であり、実際に下郷町観光公社は単年度で黒字化しており、累積債務は発生

していない。

■道路新設改良工事の減額について

議員 道路新設改良工事の予算が3050万円

減額されたことを指摘。当初予算額と減額された理由、工事箇所は？

町長 減額は社会資本整備総合交付金の決定配分額が減ったため。

課長 当初予算は8400万円、落合1号線など5つの路線の改良費が含まれていたと説明。減額は社会資本整備総合交付金の減額によるものである。



一般質問

3月会議では、3人の議員が4件の一般質問を行い、活発な議論を展開しました。8ページより、質問した順に代表する質問の質疑応答を要約してお知らせします。

渡部 哲

●自主財源の確保について

P11

星 和志

●湯野上新設道路の計画と狙いは

P12

星 邦一

●町長の公約について

●第6次総合計画の検証について

P13



“一般質問”は、議員が町の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等を聞き、町長などに所信や疑問をたずねることで、報告や説明を求めることです。



スマートフォンで右のQRコードを読み込むと今までの会議録を読む事ができます





渡部 哲 議員

tetsu watanabe

質問 自主財源の確保について

答弁 健全財政の堅持

問

昨今の下郷町の人口は2025年に約4800人、2050年には約2300人に減少すると予測されており、人口3000人を下回ると町の経済が立ち行かなくなる懸念があります。

バブルに湧いた30年ぐらい前までは、わが町は、一万人の盆踊り、と活気に満ち溢れ、経済も潤い、人々の生活に張りがあり夢が持てた時代でした。

かつては電源開発下郷発電所から上がる固定資産税を含む自主財源が5割を占めていました。現在は国や県に7割依存する厳しい財政状況です。

しかしながら、町長さんからは自主財源確保に向けた前向きな発言が聞こえて来ません。

また町長さんが最初の選挙に出たときの公約は、工業団地を作り法人税を増やして町の活性化につなげたいと立候補なされたのを鮮明に覚えています。

当時はなんと素晴らしい構想の持ち主かと思っていました。それが、今持っていていないのが残念でなりません。

昨今の町の衰退は、国や県などの外部要因はもちろんですが、内部の要因が顕著だと思われまます。

わが町はもつと10年先、20年先を見据えた積極的な行政を行われなければ、衰退の道を辿りかねないと危惧します。最後に町長さんの町の発展に対する存念を伺います。

答

大川ダム関連の大規模償却資産が大きく税算に反映された平成元年度決算においては、それまで20%台で推移していた自主財源の割合が、49・3%にまで大幅に上昇した。

それ以降は、資産の償却の進行とともに徐々に減少し、直近の令和5年度決算においては、自主財源の割合は31・3%という状況になっている。

町税全体の収入についても減収傾向が続いており、人口減少が進行する中、この状況は今後も一定程度続くものと推測される。

税収をはじめとする自主財源の確保は、常に財政運営上の課題の一つであり、町では地方交付税をはじめとする国からの地方財政措置を活用しながら、これまでも健全財政の堅持に努めてきたところである。

町発展と自主財源の確保は一体を成すものであり、その考え方のもとに、本、3月会議に上程している「第7次下郷町総合計画」が作られているので、理解いただきたい。



星 和志 議員
kazushi hoshi

質問 湯野上新設道路の計画と狙いは

答弁 拡幅する改良事業である

問 3社連名での要望書提出について、営利目的の会社が含まれていることは倫理的に問題ないのか？

答 町長は、町内の企業への支援は通常行われており、問題ない。

問 道路拡幅計画はいつ、どのように決定されたのか？

答 過疎地域持続的発展計画に基づいて計画され、議会全員協議会で説明・承認された。

問 説明会に参加した関係者はどのような人々か？

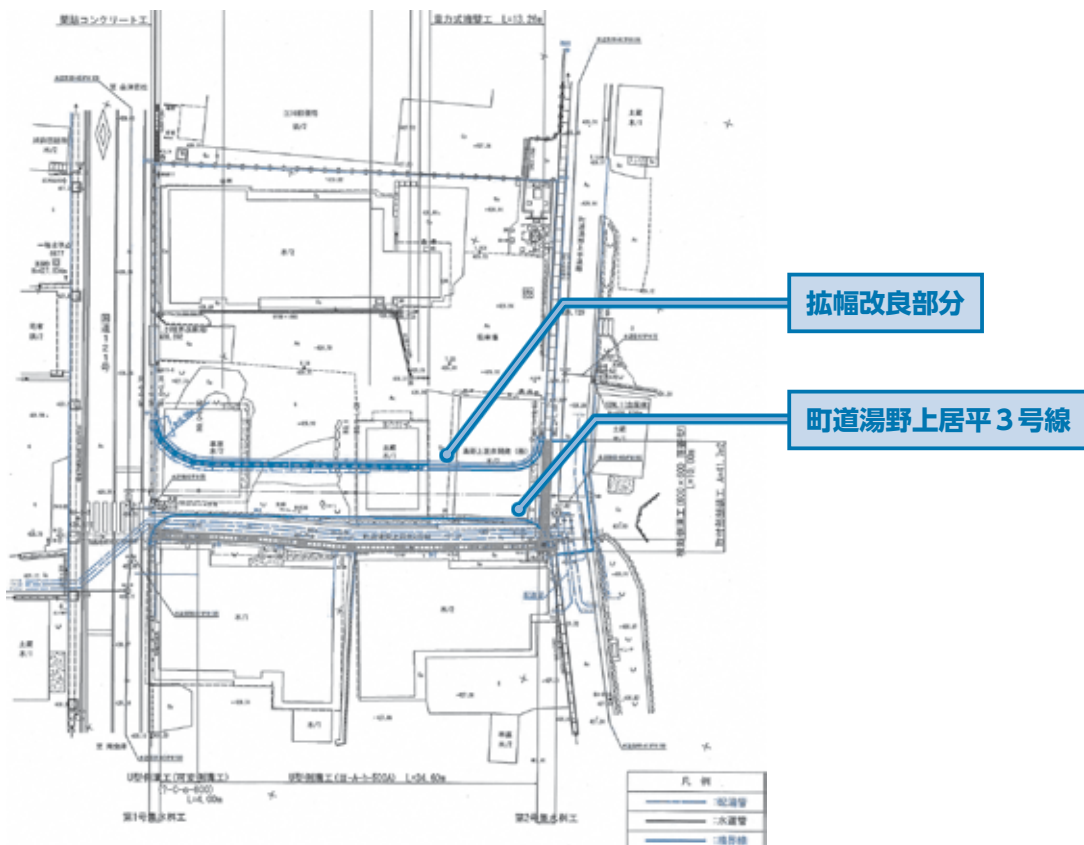
答 区長、財産区関係者、温泉株式会社、隣接地主等が参加したと回答。

問 経済効果はどの程度見込んでいるのか？

答 町長は、宿泊施設の収入や駐車場利用に15施設で8400万円を見込んでいる。

今後の計画

- 町長は道路拡幅事業の実施について、令和7年度から9年度にかけて事務所の物件補償や工事を実施することを表明。
- 建設課は安全対策として、車道部と歩道部のカラー舗装、温泉熱を利用した無散水消雪施設を設置することを計画。
- 町は公安委員会に対して信号機設置の要望を行うことを表明。
- 議会に対して、予算や計画の詳細について、今後も説明を行っていくことを確約。
- 地域住民の安全確保と観光発展のため、駐車場整備を含めた総合的な開発を進めることを決定。





星 邦一 議員

kuniichi hoshi

質問 公約の達成状況について

答弁 着実に前進している

問 令和3年9月の町長選挙における公約は概ねどの程度達成されたか。

また、公約の中に移住定住の促進を掲げていたが、3期目就任以降の取り組みを伺う。

答 公約は着実に前進し、その成果は現れているものと考えている。

定住の促進としては、新生活支援事業を、結婚祝金の支給を開始したところであり、高齢者タクシー助成事業や除雪支援事業など、町の様々な主要事業は重要な定住対策と考えている。さらに、空き家バンク事業や下郷移住支援金制度、住宅取得支援事業など移住者を受け入れる環境整備を進めているところである。

問 着実に前進し成果が表れているとのことだが、

答弁のあった移住支援金制度や住宅取得支援事業などは、今回の3月補正でほぼ全額が減額されているが、そ

のような状況でも前進したと考えるのか。

答 移住定住者が現れなかったから補正予算で減額するということであり、推進はしている。

問 PRが足りないのではなく、積極的にPRし、それでも効果がなければまた何かしようというような政策も必要ではないか。

答 今後、プロジェクトを作っていくなど考えながら進めていく。



自然豊かで住みよい下郷町

質問 第6次総合計画の検証について

答弁 一定の効果が得られたものと感じている

問 第6次総合計画の基本計画における主な施策の検証結果と達成状況を伺う。

答 基本目標を定量的に進むことは難しいが、住民アンケートを実施したところ、50・6%が住み続けたいという回答があり一定の効果が得られたものと感じている。

問 答弁のあった50・6%の年齢構成を見ると、

高齢層が多く若い年齢層は低い結果となっている回答状況を見れば、危機的な状況だと思われる。町民ワークショップ参加者を募っても一人しか来なかったという危機感を持ち、町民みんなが同じ方向を向くような姿勢を発信しないと駄目ではないか。

答 総合計画はあくまでも総合計画で、その中身は訂正することができる。これから十分に議論しながら進めていくよう職員等に指導していくので理解していただきたい。

問 総合計画の検証結果の質問を踏まえ、公約は着実に前進したと考えるのか改めて伺う。

答 当初はコロナ禍で厳しい状況だったが、それを取り返していくような形でやっていきたいと思っている。

議会だより ギャラリー

議会とまちのうごきを
写真でレポート

各学校の入学式の様子

4月7日(月)町内の小・中学校において入学式が行われました。
新たな門出の日。希望に満ちた表情が、これからの成長を物語っています。



▲榎原小学校 新入学生4名



▲旭田小学校 新入学生12名



▲江川小学校 新入学生3名



▲下郷中学校 新入学生22名



入園式の様子

4月2日(水)湯野上保育所において入園式が行われました。
ちよっぴりドキドキ、でもワクワク。初めての一步が、未来への第一歩になりますように。

◀湯野上保育所 新入園児5名

次回6月会議は6月第3週目の予定です。※日程が変更になる場合がありますので議会事務局へお問い合わせ下さい。

議会広報常任委員会

委員長	星	和	志
副委員長	大	竹	浩
委員	猪	股	謙
委員	湯	田	純
委員	星		昌
委員	渡	部	哲

(猪股 謙喜)

今年、ソメイヨシノが町内どこでもみごとに咲きほこっている。江戸末期、現在の東京都豊島区駒込にあった染井村の植木職人さんが開発したとされている。オオシマザクラとエドヒガンの交配種とされているソメイヨシノは、一本の木から挿し木をして増やす。花が先に咲き、後から葉が出てくるのが特徴で、花を楽しむのには最適で全国に広がった。町内に自生しているオオヤマザクラも咲きだした。水田に水が入るのもまもなく。今年も豊作でありますように。

編集後記